
給食のツンデレ。

にーとん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

給食のツンデレ。

【Nコード】

N4578F

【作者名】

にーとん

【あらすじ】

もはや萌えシリーズと化した給食シリーズ。俺の作品は全部読んどいた方が良いかもよ？

僕は給食が大嫌いだ。

牛乳なんてもう二度と飲みたくない。

ていつか牛なんて嫌いだ。もうどうにでもなれ。

今日は一週間に一度の給食のおばちゃんの日。

給食食べないと怒られるだろうな．．．はあ。

まさかまたあの幼女が出てきたりしないだろうな。

がらがら．．．

「は、早く食べなさいよっ！」

「へっ？」

「せつかく私がつくつてあげたのに食べないっていつの?!信じられない!」

．．．．今度はなんなんだよ．．．

「ちよつとそこのおんた!早く食べなさいよね!」

「僕?」

「そつよ!とつとと食べなきゃただじゃすまないんだから!」

「はいはい、分かりましたよ。」

．．．でも、よく見ると今日豪華だな。

給食にしては。

「ん、おいしい。」

「あ、当たり前でしょ!?私がつくつたんだから!」

「こんなにおいしい給食は初めてだな。」

「何よ．．．照れるじゃない．．．」

「はっ!こ、これは．．．」

?．．．先生どうしたのかな?

「ツンデレだとオオオオオオオオ!」

「何あんた、うぎ。」

「ぐさつ。うづつ．．．」

ああ、先生が帰っていく．．．午後授業あるのに．．．

「何あれ、ばつかじゃないの？」

「ははは．．．」

「それよりあんた！名前、教えなさいよ．．．」

「自分から名乗るのが礼儀っていうもんらしいけど？」

「う．．．私は．．．」

バン！

「お残しは許しまへんでー！！」

「叫ばないでください、つばが飛びます。」

先生復活したー！

「何よあんた、私のつくった給食に唾かけないでよ」

「あんたこそ、人の仕事場乗っ取って何してんだい！！いいかい！
？給食っていうのは栄養と．．．」

「黙りなさいよ、あんたのつくる給食は栄養にとらわれすぎなの！
ご飯っていうのは華やかさと味が必要なのよ！」

「ええと．．．愛も必要だと思えますよあ？」

幼女まで出たー！！！！

「あ、牛乳ぶっかけご飯食べてくれた人だー！」

う、かわいい。でも．．．

「あの味は思い出したいくないいいいいいい！！」

「叫ばないでください、つばが飛びます。」

「もうさ．．．俺なんて．．．なんの役にもたたないんだよ．．．」

「

「なんか鬱の人が居るよ！？しかもいかにもビーム飛ばしてでゅわ
って言いそうな某番組のヒーローだよ！？こんなでいいのヒーロ
ー！？」

「そんな．．．牛乳ぶっかけご飯おいしいのに．．．」

「うわあああああああああああああああああああああああああ
あ！」

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・え？

夢？

「ゆめおちかよおおおおおおおおおおおおおおおおお
おおおお！！！！??？」

「叫ばないでください授業の邪魔です。」

ありえない．．．すげえ恥ずかしいぞ。くそっ．．．おばちゃんと
幼女とツンデレめ．．．

「出席番号12番、ここ、何気候だ？」

「ツンデレ気候です。」

「ツンデレだとオオオオオオオオ！？」

(後書き)

・はい、何も言わないで。分かっています。自重します。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4578f/>

給食のツンデレ。

2011年1月23日14時23分発行